

桜 島

○概況

桜島南岳は、4 月は噴火活動がやや活発でした。1 ヶ月間の噴火回数は 17 回で、そのうち爆発的噴火（爆発）は 16 回でした。火山性地震は少ない状態で経過しました。

○噴火活動の状況

4 月の噴火回数は 17 回（3 月 5 回）で、そのうち爆発は 16 回（3 月 3 回）でした（図 1）。噴火は期間の前半に集中して発生し、上旬に 16 回（そのうち爆発 15 回）、中旬に 1 回（爆発）ありましたが、下旬はありませんでした。

16 回の爆発では、爆発に伴う体感空振を 2 回（小）、噴石を 1 回観測しましたが、爆発音等は観測しませんでした。噴石は 8 日 13 時 19 分の爆発に伴うもので少量の噴石が 9 合目まで飛散しました。

4 月の日別の噴火・爆発回数は表 1 のとおりです。

表 1 4 月の噴火・爆発回数

日	1	3	6	7	8	9	10	12	計
噴火回数	2	1	2	1	4	1	5	1	17
爆発回数	2	1	2	1	4	1	4	1	16

注）爆発は「爆発的噴火」の略称で、噴火の一形式であり噴火回数の中にも含まれます。

○噴煙活動の状況

17 回の噴火のうち噴煙を観測できたのは 9 回で噴煙量は中量 4 回、少量 5 回でした。噴煙高度の最高は 16 日 17 時 26 分の噴火の火口縁上 1,200m でした。

○地震・微動活動の状況

火山性地震は 3 月よりやや増加しましたが、総じて少ない状態で経過しました（図 2、図 3、図 5）。また、火山性微動も前月よりやや増加しましたが、総じて少ない状態で経過しました（図 4）。

震動観測点 B 点（南岳火口から北西 2.3km）での 4 月の火山性地震の回数は 165 回で、3 月（123 回）よりやや増加しました。噴火活動がやや活発化した上旬に地震が増加し、中旬以降は減少しました。また、火山性微動も 3 月よりやや増加し、1 ヶ月間の回数は 44 回（3 月 6 回）でした。各旬の火山性地震・微動回数、微動出現時間は表 2 のとおりです。

表 2 火山性地震・火山性微動回数と微動出現時間

	上旬	中旬	下旬	合 計
火山性地震回数	133	15	17	165
火山性微動回数	40	4	0	44
火山性微動出現時間（h）	2.5	0.1	-	2.6

○降灰の状況

東郡元町の気象台における降灰の観測では、4 月は 11 日と 27 日に降灰があり、降灰日数 2 日、降灰量 $0\text{g}/\text{m}^2$ （3 月は降灰日数 2 日、降灰量 $0\text{g}/\text{m}^2$ ）でした（図 4 参照）。

○地殻変動観測の状況

GPS による地殻変動観測では、黒神 - 藤野と黒神 - 野尻の両観測点間の基線長に変化は見られませんでした。

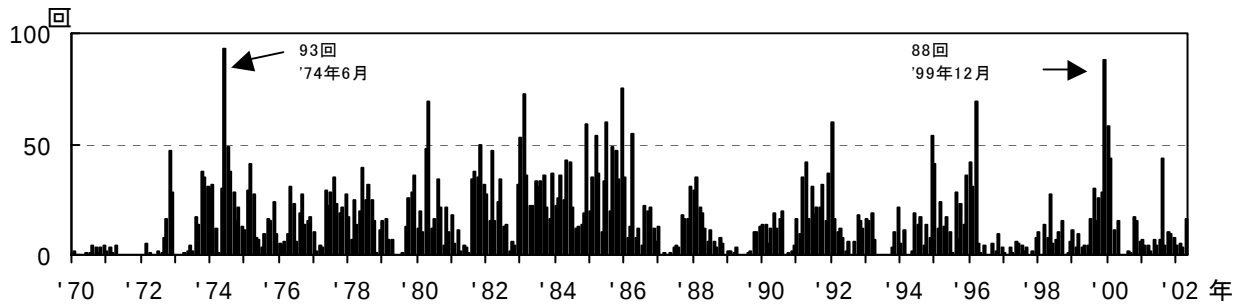


図 1 月別爆発回数グラフ（1970 年 1 月～2002 年 4 月）

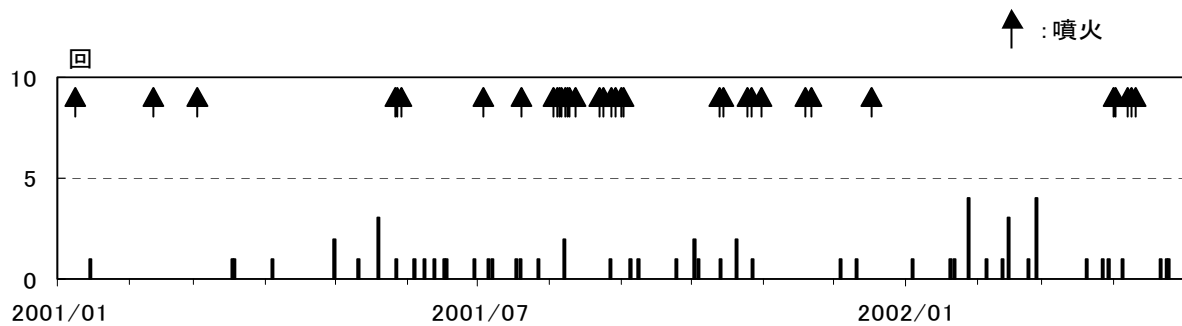


図 2 震動観測点 B 点の A 型日別地震回数（2001 年 1 月～2002 年 4 月）

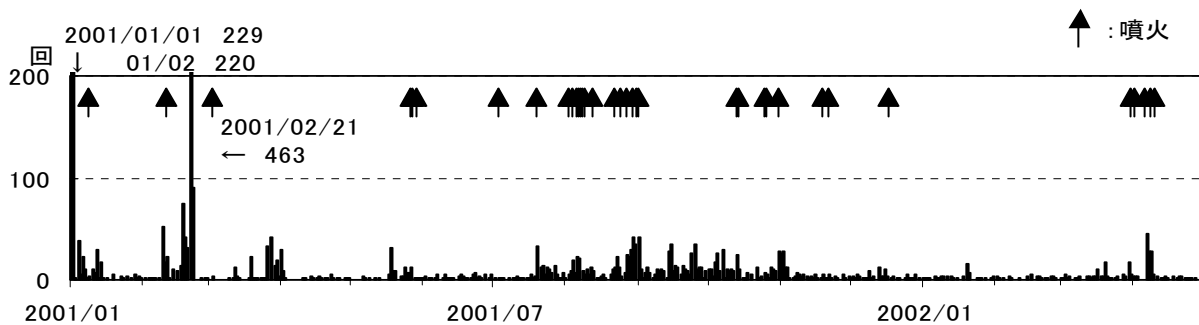


図 3 震動観測点 B 点の B 型・C 型日別地震回数（2001 年 1 月～2002 年 4 月）

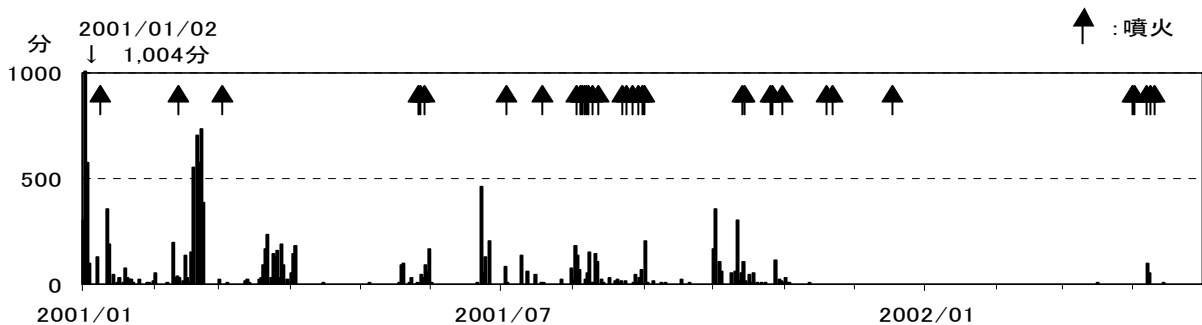


図 4 震動観測点 B 点の日別微動出現時間（2001 年 1 月～2002 年 4 月）

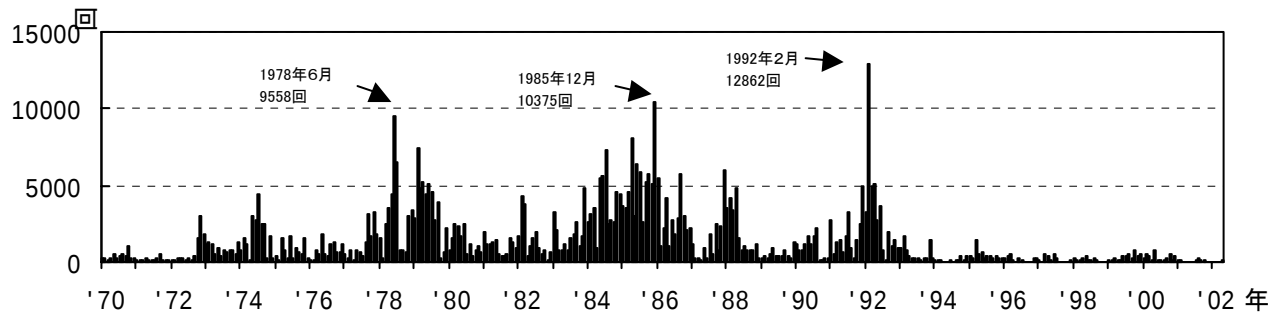


図 5 震動観測点 A 点の月別総地震回数（1970 年 1 月～2002 年 4 月）

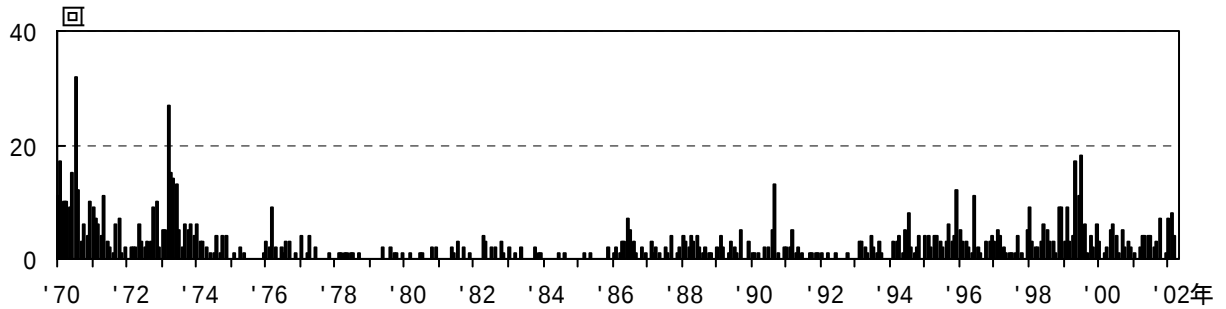


図 6 震動観測点 A 点の A 型地震月別回数（1970 年 1 月～2002 年 4 月）

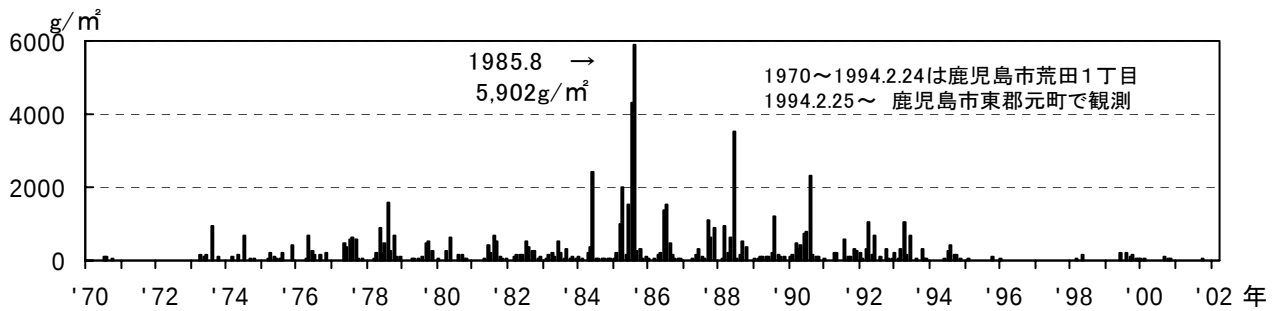


図 7 鹿児島地方気象台における月別降灰量（1970 年 1 月～2002 年 4 月）